

まちさぽ

あしたに なれば
また あかくなるさ



令和六年
弥生

特定非営利活動法人共創のまちサポート
いわき市平字高月103-1 國井達夫



←最新情報はこちら

バックナンバーも
見てね! →



ぜんべいじいさんの たのしみは おいしい いちごを たくさん つくることで
す。はるに なるまで だいに だいに そだてます。「そうだ、これを あげ
よう」「ありがとうございます。でも、おじいさんのが・・・」「なあに、あしたに
なれば、いちごは また あかくなるさ。」 **ぜんべいじいさんのいちご/松岡 節**



コミュニティ食堂

◆様々な出会いに感謝いたします。

◆平一小の校長先生が視察に来られました。お嬢さんも一緒に、地域の中でのコミュニティ食堂の役割について真剣に聞いておられました。◆いつもお父さんと一緒に手伝いに来てくれたT君が大学進学の報告に来られました。卒業後も、コミュニティ食堂での経験を生かして学びを深めてください。◆アルプスアルパイン(株)さんがフードドライブで社員の皆さんから集まった食品などを届けてくださいました。お菓子・麺類・缶詰・調味料・そのほかノートや鉛筆など文房具もあり子供たちも大感激!

平第14区公民館(久保町)(火)(水)6:30~7:00 大人300円高校生100円中学以下50円

【お問い合わせ】090-6251-5814 増子 hmarshiko0@icloud.com

ご利用の方は前日までにお申し込みください。



1月~2月 ご支援いただいた皆様 ★いつもありがとうございます★

荒川ゴルフクラブ様 (有)内山産業様 いわき小名浜菜園(株)様 白土屋菓子店様 山田屋醸造様
ファミリーマート様 フタバ鶏卵(株)様 ヨークベニマル様 イオンモールいわき小名浜様
佐藤和也様 丹野勇雄様 陣内紀旭様 中島のり子様 ふくしま子ども食堂ネットワーク様
アルプスアルパイン(株)様 明治安田生命いわき支社平営業部様 遠藤清信様 正月荘様
第一生命保険(株)様 今泉満臣様 渡邊一弘様 金成信昭様 渡部様 鈴木涉様 芳賀伝様 他

新鮮な食材を お届けします

市場直送の新鮮な青果をはじめ食品一般の卸売を承っております。配達・品揃えなどお気軽にご相談ください。

有限会社 内山産業

いわき市小名浜字林の上19-3

0246-92-3892

8:30~16:30
定休日(水)(日)
(祝)



あすか社会保険労務士法人

プロの視点で人事に関する
お悩みにお応えします
福島県いわき市平谷川瀬二丁目10-19
グランSATOU

0246-38-9001

お電話受付平日 9:00~17:30



お問い合わせ
24時間受付

www.asuka-sr.com/contact

一般財団法人 ふくしま未来研究会

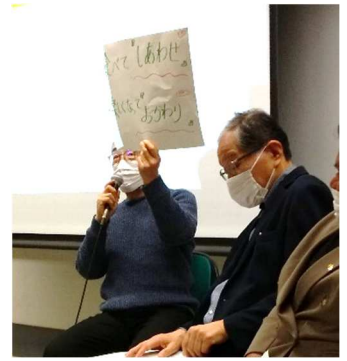
〒960-8031
福島市栄町 6-5
南條ビル A 館 7F
024-522-4610



暮らしやすい福島
行ってみよう福島

30年後を見据え
福島を元気にする活動を
支援・助成します
fukushima-mirai.com

こども食堂立ち上げ講座



いわきで2回目となる立ち上げ講座がい

わき市生涯学習プラザで開催されました。子ども食堂開設を考えている方を中心に市外からの方も含め多くの参加があり関心の高さが改めて実感されました。前半は近藤博子さん（一般社団法人ともしび at だんだん）の講話。居心地のよい「八百屋さん」から「ワンコイン寺子屋」での学習支援へ、さらに子どもに留まらず様々な人の居場所・活動の場所として発展してきた歩みを紹介していただきました。後半のパネルディスカッションでは、子ども食堂ネットワークの増子さん・渡邊さん・ダナンジさんが登壇し開設当初の苦心談なども交えそれぞれの独創的な取り組みが語られ、参加者の方々からも大きな反響がありました。



現在高校生の娘が小学生の時、3年半中国で暮らしました。悩んだ末に娘をカナダ系のインターナショナルスクールに通わせる事にしました。中国の富裕層が外国で出産し外国籍を得た子供達が半分、外資系に勤める欧米人や韓国人、その他様々な事情で中国に来た子供達が半分の文字通りインターナショナルな学校でした。中国と欧米のシステムを取り入れている為、両方の文化を体験できる貴重な経験

Lilyさんの
中国の
暮らしと英語

になりました。

カナダシステムでは10時のリセスという休み時間にリンゴやクッキーなどを食べるスナックタイムがありました。10時に栄養補給をする事でお昼まで元気に過ごせます。また、年に数回テーマを持った日があり、「Pajama Day」（パジャマで通う日）「Opposite Day」（チグハグな服装で通う日）「My Dream Job Day」（将来の夢の職業の格好で通う日）「International Day」（自国の民族衣装や食べ物をシェアする日）など、どのイベントでも子供達の気合の入れ方が素晴らしく、とても楽しんでいました。中国システムでは、中国語の授業が毎日1時間あり、宿題で何ページも毎日漢字を書いていたので日本語を全然忘れませんでした。



私達の生活面では、Expatsという駐在家族のグループ活動に参加をし、フィンランド、バングラデシュ、スペイン、オーストラリア、ドイツ、アメリカなど様々な国の家族と多くのイベントを楽しみました。毎年1月か2月の旧正月を祝うイベントでは、伝統的なお祝いの料理をチーパオと呼ばれるチャイナドレスを着て楽しみました。また、料理好きの仲間と自国の料理をふるまう昼食会をし、フィンランドのシナモンロール、バングラディッシュのカレー、中国の火鍋、スペインのパエリアなど、作り方だけでなく調理器具も見せてもらい、まるでその国を訪れているようでとても楽しかったです。私の番の時は、すき焼き、天ぷら、海苔巻きを作り、みんなにも巻き寿司に挑戦してもらいました。日本食店に刺身などを卸している会社が小売もしていたので、お寿司の食材には困りませんでした。

中国から帰国し早5年が過ぎますが、娘も私もSNSのお陰でそれぞれの国に帰った友達と今でも交流があります。そして何より中国で私たちの生活を豊かにしてくれたのは英語だったと思います。現在、英語サポーターをさせて頂いて思う事は、英語は決して



定例ミーティング

入試や資格の為のものではなく、世界を広げる素晴らしい道具だということです。英語で開く扉の先には大きく広がる美しい空があることを子供達にこれからも伝えていけたらと思います。

英語教育サポーター・田中由里子さん